

（表）

		※ 受理 年月日		※ 受理 番号	
<p>マリーナ事業開始届出書</p> <p>東京都水上安全条例第19条第1項の規定により届出をします。 年 月 日</p> <p>東京都公安委員会 殿</p> <p>届出者 住 所 氏名又は名称 （法人にあっては、さらに代表者の氏名）</p> <p>電話</p>					
（ふりがな）					
氏名又は名称					
住 所		〒 電話			
本籍・国籍					
生 年 月 日		年 月 日生			
法人に あっては、 その代表者	（ふりがな）				
	氏 名				
	住 所	〒 電話			
	本籍・国籍				
	生 年 月 日	年 月 日生			
（ふりがな）					
事業所の名称					
事業所の所在地		〒 電話			
事業を開始しようとする年月日		年 月 日			

(裏)

営業時間等		営業時間		
		<input type="checkbox"/> 午時分から午時分まで ()		
		<input type="checkbox"/> 午時分から午時分まで ()		
		<input type="checkbox"/> 午時分から午時分まで ()		
		定休日 ()		
施設 の 内 容 及 び 規 模	係留施設			
	陸上保管施設			
	管理施設 (クラブハウスを含む。)			
	給油施設			
	揚陸施設			
	船舶修理施設			
	研修施設			
	附帯施設 (レストラン・売店)			
その他の用に供する施設及び敷地				
プレジャーボートの 収容能力	船種	収容能力 隻数		
		水上	陸上	
	モーターボート	隻	隻	
	水上オートバイ	隻	隻	
	ヨット	隻	隻	
	その他()	隻	隻	
	合計	隻	隻	
※ 受理警察署		警察署	受理者	

注1 ※印欄は、記載しないこと。

2 営業時間等欄には、該当する口内にレ印を記入し、必要な事項を記載すること。

3 本籍・国籍欄には、日本国籍を有する者は本籍を、外国人は国籍を、それぞれ記載すること。

4 プレジャーボートの収容能力欄には、事業所の管理する施設においてプレジャーボートを収容することができる最大隻数を船種の別に記載すること。

5 所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。